

1.今年度の検討について

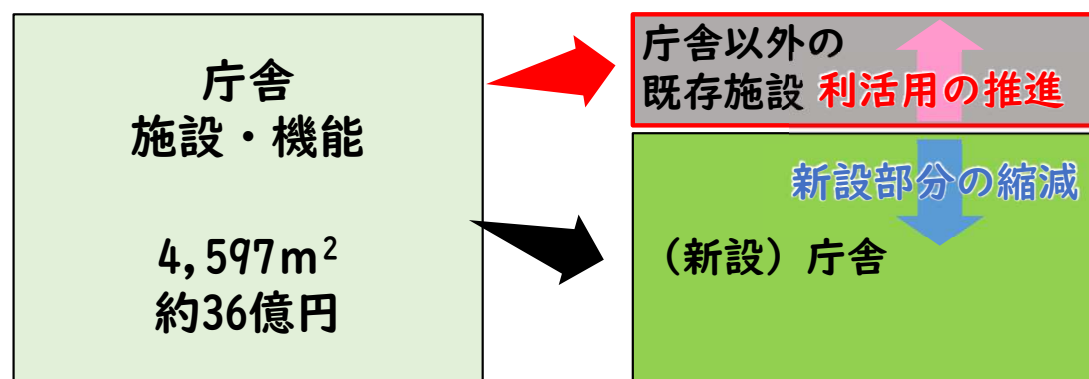
①昨年度のおさらい・今年度の検討

昨年度は基本構想素案を基に、庁舎の機能や規模の検討を行い、庁舎規模の適正化等について検討委員会報告書として整理をしました。報告書では、庁舎としての必要規模は、当初の5,140㎡(約40億円)から4,597㎡(約36億円)程度と試算されました。

しかしながら、新設にて事業規模が約36億円程度が見込まれる事業は、町財政への負担を強いるものとなります。

そこで、昨年度より**既存施設を活用**し、庁舎施設の一部機能を**分散配置**することで、新設庁舎の面積縮減や、コスト削減を図ることについて検討を進めています。今年度の検討事項として、**既存の公共施設も含み活用の可能性について検討を進めたいと考えています。**

<分散化配置の考え方>



1.今年度の検討について

②対象施設について

昨年度検討した内容に基づき、活用可能性の高い現庁舎、白樺コミセン、旧当別小学校、NTT当別ビルの4施設を対象に検討を行います。

候補施設	所有	延床面積	建設年	主な特徴
現役場庁舎	公共	3,076m ²	1970年	駅北側
白樺コミュニティセンター	公共	1,376m ²	1980年	駅北側
旧当別小学校 校舎 体育館	公共	4,844m ² 983m ²	1971年 2011年	駅南側 遊休施設
NTT当別ビル	民間	3,000m ² 対象部：533m ²	1963年	一部未利用 駅南側、商業地内

1.今年度の検討について

③今年度の検討フロー

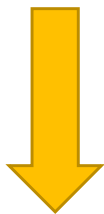
① 施設既存資料や状態確認による活用可能性調査

構造・設備、建物の状況、改修可能性などの確認を行います。



② プランニング検討

既存図面をもとに、機能配置の検討を行い、庁舎としての使いやすさの確認などを行います。



③ 概算費用の試算

①②の結果から、改修などにかかる費用の試算を行います。



④ 比較・評価

①～③の結果を踏まえて、既存施設の活用が有効であるか、どの施設を活用すべきかななどの判断を行います。

1.今年度の検討について

④施設既存資料や状態確認による活用可能性調査の内容

(1) 机上調査（既存資料による調査）

- ・ 改修・耐震補強履歴の確認
- ・ 面積などの基本情報を比較表に整理
- ・ 耐震性能、劣化状況を比較表に整理
- ・ 敷地条件のメリット・デメリットを比較表に整理

(2) 現地調査（目視による調査）

- ・ 図面との整合を確認（増築・改修されていないか等）
- ・ 床、壁、天井、建具、設備等の劣化具合の確認
- ・ 今後、活用に向けて必要となる調査項目の確認

2. 検討施設概要

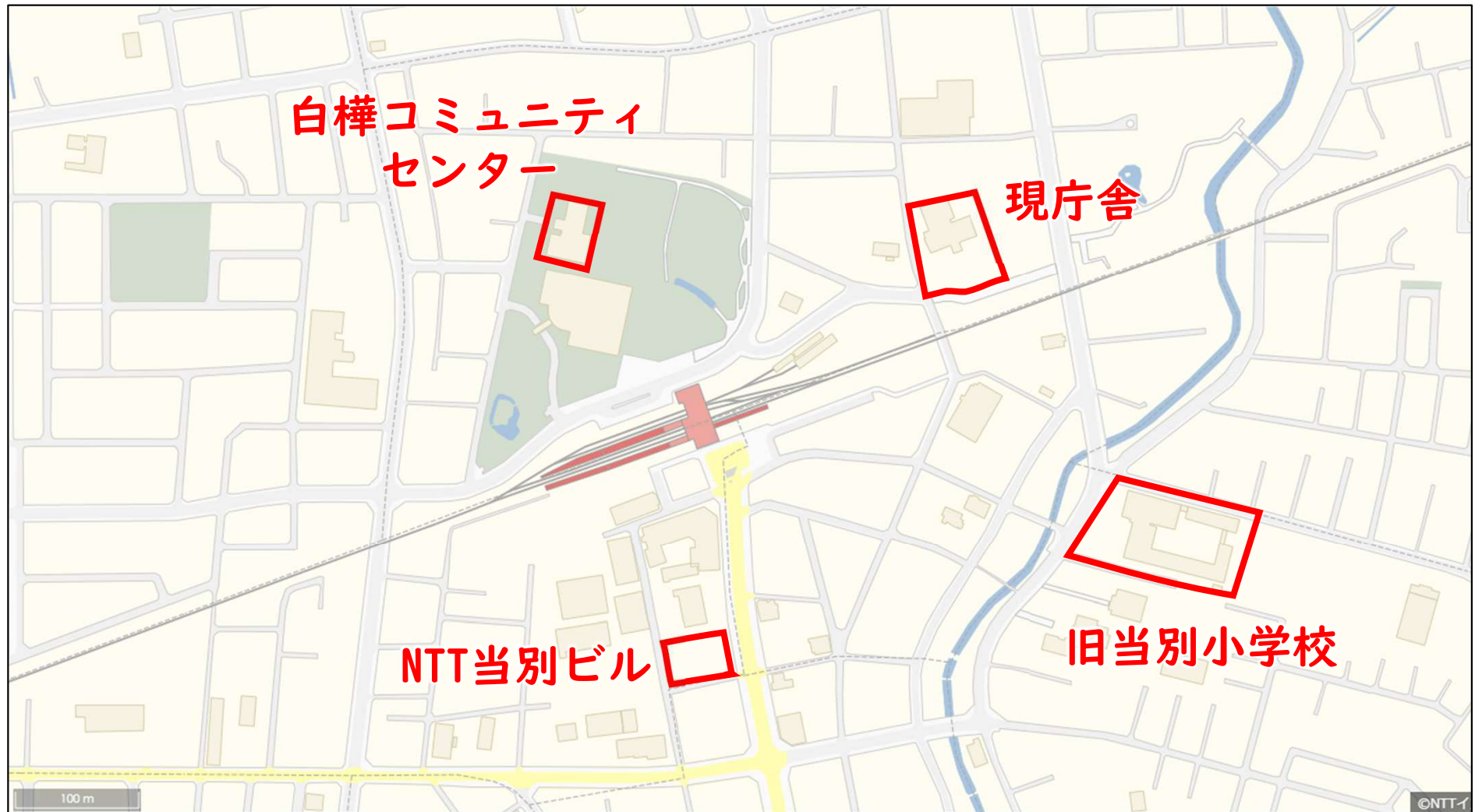
①基本情報・活用案

全施設共通で老朽化、耐震性、安全性確保、バリアフリー対応は課題であり、状況調査及び対応の検討が必要となります。また、特徴を活かした活用方針を考え、個別の課題についても検討が必要となります。

	現庁舎	白樺コミセン	旧当別小学校	NTT当別ビル
活用対象面積	3,076㎡	1,376㎡	校舎：4,844㎡ 体育館：983㎡	533㎡
主要構造 RC：鉄筋コンクリート造 S：鉄骨造	RC造3階	RC造2階	校舎：RC造3階 体育館：S造1階	RC造3階
建設年	1970年	1980年	校舎：1971年 体育館：2011年	1963年
現時点での活用方針案	<u>不便解消</u> リニューアルを行い、不足する面積を新築もしくは他の既存施設で補う。	<u>会議室等</u> 会議室等フレキシブルに使用できる用途を配置し、事務室は別途設ける。	<u>全機能集約</u> 必要面積を満たすため、庁舎機能を全て収容できる可能性がある。	<u>窓口機能</u> 駅前の賑わい創出のため、住民が訪れる窓口機能の配置を検討する。
現時点での懸念事項 ※共通事項を除く	改修時に仮設庁舎が必要になり、コストが高くなる可能性がある。	稼働中の施設であるため、現在の機能との調整が必要となる。	体育館やゆとろと遠く、他施設と比べて立地の利便性が劣る。	面積が小さくコスト削減効果は薄い。また、民間所有である。

2. 検討施設概要

②施設の位置関係



「Copyright(c) NTT空間情報All Rights Reserved」

2. 検討施設概要

③外観

現庁舎（公共施設／稼働中）



旧当別小学校（公共施設／遊休）



白樺コミセン（公共施設／稼働中）



NTT当別ビル（民間施設／一部未利用）



3.今年度の検討スケジュールについて

